

旭学区まちづくり推進委員会

委員長 大原 博

（問合せ先） 084-925-4259（旭公民館）

事業内容

- （1）健康推進事業 「健康ウォーク」（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- （2）生涯学習事業
 - ①「アロマでリフレッシュ」（7月28日）
 - ②子育て支援「クリスマス会」（12月17日）
 - ③「しめ縄づくり」（12月28日）
 - ④子育て支援「こどもたちに絵本を」（2月25日）
- （3）防災防犯推進事業 「全市一斉・各町避難訓練」（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- （4）研修事業 芸術鑑賞「ウイング アンサンブル」（10月29日）
- （5）ふれあい事業
 - ①「旭学区ふれあい夏まつり」（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
 - ②「旭ふれあいフェスタ」作品展示（10月30日～11月1日）
 - ③「福山とんど祭り・旭学区とんど」（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- （6）広報紙発行事業 （8月・10月 2回発行）
- （7）コミュニティ育成事業 （通年 15町内会：ごみ分別啓発・納税推進含む事業）
- （8）公衆衛生推進事業
 - ①花壇清掃 （随時）
 - ②環境啓発ポスター （11月）
- （9）まちづくり推進委員会運営事業 （通年 委員会：年間4回開催）



子育て支援「こどもたちに絵本を」



芸術鑑賞「ウイングアンサンブル」



「ふれあいフェスタ」作品展示

成果

- ・コロナ禍にあっても、感染状況を判断し感染防止対策を講じながら一定の事業が実施できたこと。

課題

- ・コロナ禍で実施できなかったイベントなど事業の今後のあり方について見直していくこと。

課題解決に向けて

- ・“ウィズコロナ”時代に見合った事業の再構築について検討する。
- ・イベント中心の事業から地域の課題・特性に根差した事業の推進へと転換していく。

みんなが顔見知り、気軽に声かけあえる 旭学区

『あなたが主演 みんながさんか つながるあさひ』

福山の玄関口「福山駅」から東南に広がる旭学区。城下町・伝統文化など往時をしのぶ…歴史ある地域、中心市街地で利便性に恵まれている地域、高齢化の進展や人間関係の希薄化など課題もみえる地域。

「旭学区まちづくり計画」に定める目標・将来像『みんなが顔見知り、気軽に声かけあえる 旭学区』をめざして、まちづくり推進事業に取り組んでいる。

★ コロナ禍で実施できなかった！ おなじみのイベント事業…



「ふれあい夏まつり」

自粛！



「ふれあいフェスタ」



「福山とんど祭り」練り歩き

「地域の絆」は旭学区のまちづくりの柱です。コロナ禍の今、持続可能な地域に根差した特色ある取組が求められている。昨年は、各町で行う「明るいまちづくり座談会」を感染防止の観点から学区全体で実施した。各町内会の代表・推進委員に加え広く各団体にも呼びかけ「コロナ禍の災害避難とコロナ差別」について学び、時宜にあった大切な内容・情報を必要に応じて公民館だより掲載や資料配布等により住民に周知した。

このようにコロナ禍で自粛が求められる中でも、様々な機会を通じ各組織と連携し情報を共有することで、地域の絆を深め一人ひとりの顔が見える関係を築く一助になるよう、まちづくりを推進していきたい。

コロナウイルス対策の観点からの避難所

・分散避難のすすめ



ホテル等への避難



分散避難



可能ならば友人や親戚宅などへの避難

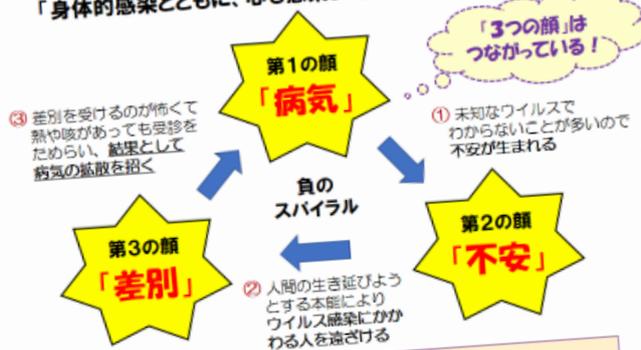


自宅への重

2020 旭学区「明るいまちづくり座談会」～資料より～ 森光玲雄さん（徳島赤十字病院 感染制御部長）

新型コロナウイルス感染症の「3つの顔」を知ろう！

★ この感染症には「**病気**、**不安**、**差別**」という3つの顔があり「身体的感染とともに、心も感染し、社会も感染する」からです



恐れるべきは、人ではなく！ウイルス！
心の感染は止めることができる

「コロナ禍の災害避難」・「感染者やその家族・医療関係者などへの誹謗・中傷・差別」
： 地域へ資料の情報提供で啓発！
：